

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よく聞いて、じこしょうかい	1	○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。(知・技(1)イ) ○話し手が伝えたいことの中心を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ)	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ)	「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことの中心を捉えている。(A(1)エ)	積極的に相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って自己紹介をしようとしている。
どきん	1	◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ)	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク)	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識し、学習課題に沿って楽しんで詩を音読しようとしている。
わたしのさいこうの一日 つづけてみよう	1	○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ)	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。((1)オ)	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	経験したことや想像したことなどから書くことを進んで選び、学習課題に沿って日記を書こうとしている。
春風をたどって	8	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク)	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク)	「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ)	進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
図書館たんていだん	1	○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ)		読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことを積極的に知り、学習課題に沿って学校図書館の工夫について調べようとしている。
国語辞典を使おう	2	◎辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	辞書の使い方を理解し使っている。((2)イ)		進んで辞書の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を使おうとしている。
漢字の広場①	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
春のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ)	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
もっと知りたい、友だちのこと	6	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。(知・技(1)イ) ◎必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、相手の考えをもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ)	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ)	粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。
漢字の音と訓	2	◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)	第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。((1)エ)		進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿ってよりよく漢字を学ぼうとしている。
漢字の広場②	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・接続する語句の役割について理解している。((1)カ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
文様 こまを楽しむ 【じょうほう】全体と中心	8	◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ)	・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ)		進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。
気持ちをこめて、「来てください」	4	◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ) ◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。((1)キ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書こうとしている。
漢字の広場③	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)		「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
まいごのかぎ	6	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ)	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)	登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。

俳句を楽しもう	1	◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)	進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って俳句を音読しようとしている。
こそあど言葉を使いこなそう	2	◎指示する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	指示する語句の役割について理解している。(1)カ)	積極的に指示する語句の役割について理解し、学習課題に沿って使おうとしている。
【じょうほう】引用するとき	3	◎引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。(2)イ)	書くことにおいて、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)
仕事のくふう、見つけたよ	10	◎相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。(知・技(1)ウ) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	・改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)ウ) ・段落の役割について理解している。(1)カ)	・「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)
夏のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	語句の量を増し、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。(1)オ)	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)
本で知ったことをクイズにしよう 鳥になったきょうりゅうの話	5	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ)	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。
わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる	2	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移りわりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)
こんな係がクラスにほしい	3	◎考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ◎目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりすることができる。(思・判・表A(1)ア)	考えとそれを支える理由や事例について理解している。(2)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)
ポスターを読もう	2	◎文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ)	比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ)	・判・表】 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)
くことを考えるときは	2	◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)
漢字の組み立て	3	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。(知・技(3)ウ)	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(3)ウ)	漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて粘り強く理解し、学習課題に沿って漢字の構成を捉えようとしている。
ローマ字	4	◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。(知・技(1)ウ)	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ)	進んでローマ字で表記されたものを読み、学習課題に沿ってローマ字で書いたり入力しようとしている。
ちいちゃんのかげおくり	10	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移りわりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移りわりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)
修飾語を使って書こう	2	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(知・技(1)オ)	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。(1)オ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。(1)カ)	粘り強く修飾と被修飾との関係について理解し、学習課題に沿って修飾語を使って文を書こうとしている。
秋のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)

おすすめのさつを決めよう	8	◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	比較や分類のしかたを理解し使っている。((2)イ)	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。
すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます	12	◎比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。((2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ)	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ)	目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つけたり、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。
ことわざ・故事成語	4	◎長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。(知・技(3)イ) ○目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。((3)イ)	書くこと」において、目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的にことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使い、学習課題に沿ってことわざ辞典を作ろうとしている。
漢字の意味	2	◎漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)	漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ)		積極的に漢字と仮名を用いた表記を理解し、これまでの学習をいかして文や文章の中で使おうとしている。
短歌を楽しもう	1	◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア)		進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って短歌を音読したり暗唱したりしようとしている。
漢字の広場④	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
三年とうげ	6	◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○引用のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	・引用のしかたを理解し使っている。((2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ)	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。
わたしの町のよいところ	10	◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○考えとそれを支える理由について理解することができる。(知・技(2)ア)	考えとそれを支える理由について理解している。((2)ア)	「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。(B(1)オ)	積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。
冬のくらし	2	◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。((1)オ)	経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
詩のくふうを楽しもう	4	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。
四まいの絵を使って	2	◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	段落の役割について理解している。((1)カ)	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)	書く内容の中心を明確にし、文章の構成考えることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って物語の流れを書こうとしている。
カンジーはかせの音訓かるた	2	◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)		進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿って漢字の音訓を使った文を書こうとしている。
漢字の広場⑤	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
ありの行列	7	◎指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(知・技(1)オ)	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。((1)オ) ・指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)カ)	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	進んで文章を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。

つたわる言葉で表そう	5	◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。((1)オ)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見通しをもって相手に伝わる文章を書くとしている。
たから島のぼうけん	8	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ)	書くことにおいて、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
お気に入りの場所、教えます	8	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)	・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ)	進んで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿ってお気に入りの場所を発表しようとしている。
モチモチの木	12	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ)	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移りわりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移りわりと結び付けて具体的に粘り強く想像し、学習課題に沿って考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。
漢字の広場⑥	2	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ◎修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・修飾と被修飾との関係について理解している。((1)カ)	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
三年生をふり返って	1	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア)	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って1年間の振り返りを書くとしている。